

「日々の理科」(第 2332 号) 2020, 11, 30

「湖面の惑星(2)」

お茶の水女子大学附属小学校教諭

お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター研究員

田中 千尋 Chihiro Tanaka

水面に反映する天体は、長年天体写真を撮り続けている者でも、なかなかチャンスがないのが普通だ。撮影可能な条件が厳しく、そういう機会に恵まれることが稀だからだ。前回の撮影時には、広角レンズを持参していなかったので、天体(実体)と反映を1枚の写真に収めることはできなかった。

そこで、同じ場所に別の日にもう一度撮影に出かけた。今回は明るい広角レンズを持参したので、「実体と反映」を1枚の写真に収められるはずだ。幸い、ほぼ完全な無風。肉眼で見ても、湖面には木星と土星がシャープに反映しているのが見える。

何枚か撮影してみたが、浅間山の山頂付近に薄い雲がかかってしまい、稜線に沈む直前の様子は撮影できなかった。もう一度挑戦しようと思った。

